

貴金属ETF証拠金取引

WEEKLY REPORT

2025/12/08号

一般社団法人日本貴金属マーケット協会 池水雄一



【ゴールドマーケットの現状】

高値圏での神経質なレンジ取引続く

SPDR Gold Shares円建価格



ゴールドとドルインデックス



ゴールドは4200ドルを中心とした動きが続いています。一週間の平均価格は4215ドル。高値4264ドル、安値は4161ドル、100ドル幅で方向感がすぐに変わる神経質なマーケットです。ちょっととしばらくこのようなマーケットが続きそうです。今週はFOMCがありますが、0.25%の利下げ確率はもはや86%まで上昇しており、利下げはほぼマーケットに折り込み済みで政策金利の発表では動かず、パウエル議長の会見から何かくみ取ることができればそれでゴールドが動く可能性はあるでしょう。大きなサプライズがなければこのまま4200ドルを中心とした上下50ドルくらいの幅でのレンジが続きそうです。円建てゴールドは12月1日にわずかですが歴史的高値を更新しました。新高値は21297円となり、そこを高値として安値は20821円と大きなレンジで動き、金曜日にも21200円を超える場面がありました。そこから急落して20957円と21000円を割り込み終わるという神経質な取引レンジとなりました。ドル円が156円台から一時154円台へと沈み、週末は155.33とほぼ一週間のレンジの真ん中で終わりました。ドル円は日銀総裁の利上げへの準備とも思える発言が円高への動きのきっかけとなりましたが、日本の長期金利の指標となる新発10年物国債の利回りは、最近1.9%台に達し、2007年以来約18年半ぶりの高水準となりました。これは利上げ見通しもその一因ではありますが、高市政権が掲げる積極財政路線による長期的な財政悪化への懸念も、長期金利の上昇につながっていると考えられます。超長期金利である、20年物は2.94%で26年ぶり、30年物は3.445%とこれは過去最高のレベルです。大規模な経済対策で国債を増発し、財政がさらに悪化するという恐れからの国債売りが広がっているのです。これは円安要因です。海外ではこの日本の「悪い金利上昇」を憂う声が大きくなっています。最大の債務国がさらに借錢をするという財政政策を取るのは理解不能というものです。日本人がゴールドを持つ意味がここにあります。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーマー）をお読み下さい。

貴金属ETF証拠金取引WEEKLY REPORT

【マーケット・トピック】

「シルバーの現状」

シルバーは先週もほぼ毎日歴史的高値を更新しました。現在の歴史的高値は59.32ドルとなり、60ドルも目前まで来ました。しかしボラティリティは相変わらず大きく1日に1ドルの動きが上にも下にもある状態です。それだけにレバレッジをかけたポジションは危険。素直に下がったところをスポットで拾ってロングを積み上げるのが正解でしょう。



「プラチナの現状」

プラチナはほぼ1600ドル台での動きとなりました。1700ドルを超えていくのにはなにか他の材料が必要な感じの動き方であり、しばらくは1600-1700ドルのレンジで動くのではないかと思います。



Gold ETF残高とゴールド価格



米長期金利とゴールド



円建てゴールドとドル円

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーマー）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所が一般社団法人日本貴金属マーケット協会から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、一般社団法人日本貴金属マーケット協会に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、一般社団法人日本貴金属マーケット協会（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】一般社団法人日本貴金属マーケット協会（Japan Bullion Market Association）

【所在地】〒103-0016 東京都中央区日本橋富沢町11-15-503

【URL】<http://jbma.net>

【E-mail】info@jbma.net

池水雄一（いけみず・ゆういち）プロフィール

1962年生まれ兵庫県出身。1986年上智大学外国語学部英語学科卒業後、住友商事株式会社入社、その後1990年クレディ・スイス銀行、1992年より三井物産株式会社で貴金属チームリーダーを務める。2006年よりスタンダードバンク東京支店副支店長、2009年に同東京支店で支店長に就任。2019年9月より日本貴金属マーケット協会（JBMA）代表理事に就任。一貫して貴金属ディーリングに従事し、世界各国のブリオン（貴金属）ディーラーでブルース（池水氏のディーラー名）の名を知らない人はいない。

最新情報は
ツイッターで